



いよいよ国内でも新型コロナウイルスワクチン接種が開始されました。これまでほとんど有効策が無い状況でしたので、非常に安心できる材料に期待しています。ただ、ワクチンは薬ではないので、過度な期待は禁物ですね。よくワクチンを接種したのに、そのウイルスに感染し、偽物だ!と大騒ぎする事がありますが、ワクチンは罹患しても軽症で済む様に免疫を体内に持つ事が目的の一つですから、御履き違えの無い様に心付けましょう。

合掌の力 良啓

修行中の話です。先生から「仏種（ぶっしゅ）を観じなさい」と言われました。真言宗では、私たちには仏様になる種が備わっていると考えます。植物の種は、土に植え、水をやり、太陽光を浴びる事で、発芽・生育し、大輪の花を咲かせます。これは仏種も同じです。修行とは、土を耕し、水をやること、光合成を促す事です。でも、種が自らを種と信じなければ何も起こりません。ですので、私たち自身が仏である事を信じる必要があると教えて頂きました。言われたから直ぐに出来るものではありませんが、日々、手を合わせる事で、信じられるようになりました。心が沸き起こると、「自分の言葉は仏様の言葉」、「私の気持ちは仏様の気持ち」と受け入れられ、自分に自信が生まれ、やり遂げる力を授かります。

長引くコロナ禍に身を投じておられますと、ストレスや生き辛さを感じます。やる気が失われたり、落ち込んでしまう人も多く見られます。このような時、手を合わせてみてください。この合掌の形があなたの心の心にある仏種であり、私たちは仏様になる事を約束された仏の子です。

合掌



ぐあいやつ

寺務員 宮里あや子

はじめまして。宮里と申します。ご縁があり、本年一月より神宮寺の寺務員としてお世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

恥ずかしながら、お寺や仏教について何も知らずに半世紀をポーッと生きてきました。これから、少しずつ勉強していきたいと思います。

「十八夜観音拝み」ってなあに



沖縄の人々に古くから信仰されてきた観音様は、旅の安全、病気の回復、一族の繁栄などを願って折にふれ拝まれてきました。それとは別に年に三回、旧暦の一月、五月、九月の十八日は、ジューハチャ（十八夜）あるいはジューハチャウガミ（十八夜拝み）などといって、とくに観音様を祀るべき日とされてきました。

（出典「沖縄しきたり歳時記」2015 稲福政斉著）

神宮寺のご本尊も観音様ですので、どうぞ旧暦の一月十八日となります。三月一日にお参りされてはいかがでしょうか。

また、神宮寺では、各種お守り、お札もご準備しています。

新学期やご入学に向けての交通安全、学業お守りもございますので、お参りの際に覗いてみてください。



ランドセル守り